

表彰

Commendation



平成22年春の叙勲

旭日小綬章 拝受

安孫子 貞夫



叙勲と園遊会に感謝 安孫子 貞夫

平成22年春の叙勲に際しまして、思いがけず身に余る 旭日小綬章 拝受の荣誉に浴しました。お陰をもちまして去る5月10日、グランドプリンスホテル赤坂にて国土交通省より勲章の伝達を受け、引き続き皇居へ参内し天皇陛下に拝謁の栄を賜り感激の極みでございました。

これも偏に、業務を通じて多くの方々との出会いを縁として、建築士事務所協会の組織運営において県関係者はもとより会員の皆様よりご指導ご支援を頂いたこと、さらに何と云っても組織の中で皆様より活動する場を与えて頂いた事によるものと、誠に有難く心より感謝を申し上げます。

小生が会長に就任して重点的に取りくんだ事は、事業方針を明確にし、活動計画及び実施は委員会中心を重視し、出来るだけ多くの会員に参画して頂く事、さらに業務に於ける職業倫理観の強化でした。特に、連合会の機関誌や毎年掲載される地元業界新聞の年頭所感でも、何時も倫理水準を高める事に関して強く提唱して参りました。当時は構造計算偽装事件がもちあがる以前でしたので、倫理の強化を提唱してもなかなか受け入れて頂けない傾向にありましたが、それでも全国や地域の中で僅かなりともその重要性についてご理解を頂いたのではと思っております。

会長就任当初、構造計算を主とする設計事務所の研究グループがあり、活発な活動が行われていました。当時これらのメンバーは当会の会員でなかったのですが、業界の強化と会員増強への思いも有り入会を勧誘したところ快く入会頂いた事が、その後の事業展開にすばらしい力となって頂いたと思っております。お陰で耐震診断判定委員会を立ち上げる際に、これらの皆様の支援もあって極めてスムーズに、しかも充実した委員会を組織出来た事はこの上なく幸運なことでした。

去る10月28日、赤坂御苑で行われた園遊会に招かれました。当日はあいにくの雨でしたが天皇陛下を目前に拝謁いたして、ご挨拶を申し上げることが出来たことは大きな感激であり生涯の喜びでもあります。

最後になりましたが、この度の受章に際し県関係の皆様には格別のご配慮を頂き、さらに業界として伊藤剛会長をはじめ理事の方々及び事務局よりご推薦を頂き、お陰でこのような機会を頂いたこと、誠に有難く心よりお礼を申し上げます。

今後もこの荣誉に恥じることなく、一層奨励し僅かなりともご厚情に報いたいと存じますので、変わらぬご厚誼ご鞭撻を下さるようお願い申し上げます、挨拶といたします。

日事連平成22年度 年次功労者表彰

平成22年10月1日第35回、日事連全国大会東京大会において当会の千歳 毅氏（村山地区）が受賞されました。（社）山形県建築士事務所協会の事業運営の発展に多大の貢献をされ、又、地域の若手会員の育成に勤めた功績は顕著であったことが認められたものです。



(株)千歳建設一級建築士事務所
千歳 毅
(村山地区)



平成22年10月1日、東京の帝国ホテルで開催されました、第35回建築士事務所全国大会において日本建築士事務所協会連合会三栖邦博会長より年次功労者表彰を受賞することができました。これも一重に山形県建築士事務所協会の伊藤会長はじめ、役員会員の推薦のおかげと厚く感謝申し上げます。

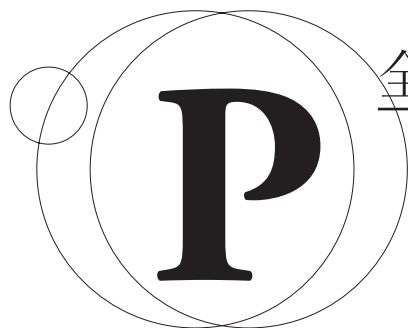
1日朝山形駅に集合し、新幹線で東京へ出発。山形からの一行8名は昼前に東京駅に着く。伊藤会長は、連合会副会長時代の同期会へ、丸の内で昼食後帝国ホテルに向かう。

第35回建築士事務所全国大会のテーマは「建築設計、工事監理業の確立に向けて」シンポジウムは、「建築設計、工事監理業の確立に向けて～建築士事務所法はなぜ必要か～」のテーマで行われた。日刊建設通信新聞社の本郷正人デスクがコーディネーターになり、パネリストとして、日事連から、岡本賢建築設計制度等対応特別委員会基本法部会部会長、一般市民を代表して、東京弁護士会の谷本周三弁護士、日本建築家協会から河野進元副会長を迎えて、建築士事務所法の必要性について熱い議論が展開された。議論の中で建築士事務所法の必要性の認識が共有でき、その実現に向けて確かな一歩を踏み出すシンポジウムになりました。

その後大会式典があり、三栖会長より年次功労者表彰を受けてまいりました。最後に次期全国大会開催の福島会の会長より挨拶があり式典は閉会した。会場を移し記念パーティーに参加。大会終了後ホテルに移動し、ホテルの近くで山形会の懇親会があり参加者の親睦がはかられました。

翌日は東京駅よりハトバスのT O K Y Oパノラマツアーに参加。パノラマツアーのバスは2階建てで屋根がなく、大都市東京のダイナミックな景観を見ることができました。午後新幹線で山形へ。夕刻無事帰形しました。

大変有意義な全国大会に参加でき心より感謝申し上げます。

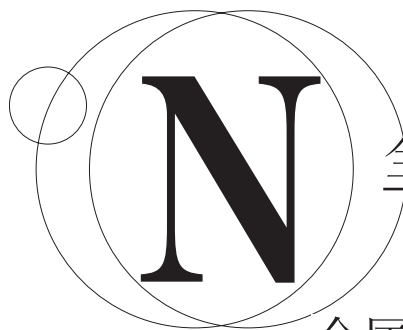


全国大会の予定

plan

【今後の全国大会の予定は下記の通りとなっています】

	建築士事務所全国大会		建築士全国大会	
平成23年	第36回	福島県	第54回	大阪府
平成24年	第37回	東京都	第55回	茨城県



全国大会

National athletic meeting

全国大会に参加して

(株)日東軽金山形支店

宮下 達

(賛助会員)



平成22年10月1日第35回建築士事務所全国大会が東京帝国ホテルにて開催されました。本県からは山形勢8名での参加で当日朝全員そろっての出発でした。

大会式典に先立ち大会テーマ「建築設計・工事監理業の確立に向けて」を題材にして、本郷正人 日刊通信新聞編集局デスクがコーディネーターに、岡本賢 日事連部会長、谷合周三弁護士、河野進設計事務所代表の御三方をパネリストに迎えてのディスカッションが行われました。独立した建築士事務所法の制定を目指すのは何故、日事連が目指すその法律とはどんなもの、消費者にとって、そして建築士事務所にとってどのようなメリットがあるのか、その法律が制定されることで建築士の責任と権限が変わるのか、等々興味深い内容の2時間を過ごすことが出来ました。

式典では(社)日本建築士事務所協会 三栖邦博会長より、「国民から信頼されて委託することの出来る設計監理業界のさらなる強化確立を目指す。建築士事務所法の制定により建築士事務所の役割と責務の明確化を図る事が最重要課題であり、建築士事務所協会の行動力と結束力をもって次ステージに向かって行こう。」との挨拶がありました。

表彰に於いて、本県からは安孫子貞夫様が旭日小綬章を叙勲され、千歳毅様が年次功労者表彰を受けられました。誠にありがとうございます。

最後に大会宣言がなされ、とどこおりなく終了しました。

孔雀の間に場所を変え、式典同様800名出席の記念パーティーに臨み和気あいあいの中、本県参加の皆様は旧知の仲での談笑いっぱいでありました。来年度(2011年10月21日)開催の福島メンバーが次テーマ「環境・人・建築 次世代への継承」PRよろしくのぼりを立てながらの大黒舞で会場を沸かしておりました。同ブロックでの開催予定、成功裡を念じております。

東京駅は創建当時の3階建に復元する工事の真最中で、平成24年6月完成予定との事、赤レンガの東京駅が完成したのは95年前の大正3年。関東大震災にもビクともしなかったのにB29の焼夷弾により炎上、一刻も早い復旧の為、ドームは角屋根に、3階は撤去し、応急修理から60年も持ちこたえてきた駅舎。

その近くのはとバスでTOKYOパノラマドライブで屋根無しバスでの見学を挙行、遠くにスカイツリー、近くに東京タワー、そしてビル群、特に丸の内界隈は岩崎弥太郎が明治政府から得た土地をオフィス街として開発した場所とか。明治6年三菱商会発足から現在まで綿々と続く伝統ある三菱の名が誕生してから百数十年。長いのか短いのか…。

伊藤会長そして黒田監事のきめ細やかなる御配慮に、又、御同行賜りました皆様の御世話に厚く御礼を申し上げます。

